



## 未来人になりきり市の政策を高校生が考える フューチャー・デザインを活用した「総合的な探究の時間」の実施 1月13日(木)、1月20日(木)@大阪府立池田高等学校

### ❖ 概要

大阪大学大学院工学研究科 倉敷哲生教授は、大阪府立池田高等学校（校長：山名正志）と連携しフューチャー・デザインを活用した「総合的な探究の時間」を実施します。

フューチャー・デザインとは仮想将来世代（現在の年齢のまま未来人として振る舞う）を導入することで、現在世代だけでは発想しづらい長期視点の意見や、短期的な利益にとらわれない持続可能な利益への志向を高め、よりよい社会の将来像を考えるための手法です。この手法を池田高校第二学年の「総合的な探究の時間」で活用します。生徒は現在世代と仮想将来世代の2つの視点から池田市の社会課題を見つめ、カードゲームを通して政策を考えます。この授業を通して生徒が社会の抱える課題をより自分ごととして捉えて、自身の学べき学問を考えるきっかけとすることを企図しています。昨年度実施した際は、授業を受けた生徒は、フューチャー・デザインを学び、視点の変化によって選ばれる政策の変化に驚きながら、持続可能な社会の実現に向けて自身がどのようなことができるかを考えました。今年度は授業時間を拡大し、より学びを深めるようにしています。

本授業は、大阪大学大学院工学研究科と池田市が取り組んでいる研究活動を高大連携に応用する取り組みとして実施します。

### ❖ 担当教員



#### 倉敷哲生（くらしき・てつせい）

大阪大学大学院工学研究科ビジネスエンジニアリング専攻 教授。1997年大阪大学大学院工学研究科 博士後期課程修了。博士（工学）。助手、准教授を経て現職。2014年4月から2年半、経済産業省産業製造局に出向し、戦略調整官として、「金属素材競争力強化プラン」の策定、製造産業技術戦略室立ち上げ等に携わる。現在は、新たなテクノロジー創成のためのシミュレーション構築ならびに新技術開発を行っている。